

# 社会貢献活動

沖は社会のため、自分たちのため「できることから始めよう！」をスローガンとし、コーポレート社会貢献推進室を中心に、従業員と会社が協力して社会貢献活動に取り組んでいます。

## 1 「年1回ボランティア活動」の推進

沖電気グループでは、創業120周年をきっかけに、社員一人一人が年に1回、何らかのボランティア活動に参加していこうという「年1回ボランティア活動」を推進しています。2002年度の各地区環境ボランティア活動を紹介します。

### ■「第77回郷土美化合同奉仕活動」に参加

沖電気グループ中部地区(名古屋市)では、ボランティアグループ「OKI中部サークル」を結成し、地域貢献活動の一環として清掃活動を実施しています。昨年の「堀川一斉清掃ボランティア活動」に引き続き、本年は、5月26日(日)開催の「第77回郷土美化合同奉仕活動」に47名が参加しました。当日は天候に恵まれ、初夏の日差しの中、参加者全員で奉仕活動に汗を流し、短い時間でしたが有意義に過ごしました。本年より年2回のボランティア活動を実施していくことを目標としています。

### ■「清武川水系を美しくする運動推進大会」に参加

宮崎沖電気(株)では6月2日(日)に開催された、宮崎県主催の「清武川水系を美しくする運動推進大会」に42名が参加しました。



清武川水系を美しくする運動推進大会

### ■通勤路を清掃しました

(株)沖センサデバイス甲府工場では、昼休みに工業団地内の9社の従業員と共同で通勤路を清掃しました。また、富士の麓の山梨工場でも昼休みを利用し、富士山に続く通勤路を清掃しました。

### ■「高松市中央通り一斉清掃」続けています

四国支社では、地域活動の一環として、高松市環境美化推進会議が毎月実施している「高松市中央通り一斉清掃」に、社員有志が参加しています。2001年8月に初めて参加して以来、毎月この活動を継続しています。2002年7月4日の午前7時40分～8時10分、出勤前のこの活動に社員有志3名が参加し、中央公園並びに周辺の歩道などを清掃しました。雨こそ降らなかったものの、大変蒸し暑く、終了後は、かなりの汗をかきました。これまで、沖電気の参加者が地元ボランティアの方と話す機会が、あまりありませんでしたが、今回は全体の参加者も少なかったせいか、ゆとりを持って、語りあう機会を持つことができました。

### ■片浜海岸清掃ボランティアに参加しました

沖電気グループ沼津地区の6社は、沼津市で年に1回行われている「各地域一斉清掃活動」に本年から参加しました。今年の一斉清掃活動は、2002年7月14日(日)に行われ、当日、沖電気グループからは、子ども8名を含むボランティア総勢75名が集まりました。片浜海岸で各自ゴミ収集袋を受け取り、缶・ビン・プラスチック・可燃物の分別収集を行いました。自治会長より、「例年は1時間強かかりますが、今年は沖電気グループの方々に参加して頂いたので早めに作業が終わりました。」とお礼の言葉を頂きました。

### ■仙台市内清掃大作戦今年も継続しています

2002年9月7日(土)、東北支社及び仙台市内にある沖電気グループ7社の従業員及びその家族87名は、仙台市内の清掃活動(通称:ごみ拾い)を昨年度に引き続き実施しました。今年度はあいにくの小雨模様で、しかも、仙台市恒例のジャズフェスティバルが街路地の到る所で開催され、大勢の人出がありましたが、その合間を縫ってがんばりました。表通りは吸殻程度でしたが、横道に入るとペットボトルや空き缶が多く、予想以上の収穫がありました。



## 2 森林ボランティア活動

森林は森林資源の供給のほか、水資源の確保や土砂災害の防止など様々な働きをしています。この森林の維持が、林業で働く人々の高齢化などにより困難となっています。このような現状を少しでも改善しようと、森林ボランティア活動を推進しています。

### ■「OKI 山と緑の協力隊」が中伊豆で森林ボランティア活動

2002年10月19日(土)～20日(日)、「OKI 山と緑の協力隊」29名は、今年で2回目となる「中伊豆町プログラム」に参加しました。このプログラムは、「地球緑化センター」の協力を得て企画された沖電気グループ単独の森林ボランティア活動です。同センターから、総指揮官の山田さんを含む4名の方にご参加・ご指導いただき、中伊豆町・町有林で間伐を行いました。

参加者は、頭にヘルメット、腰にのこぎり、手に手袋をつけ、間伐作業を開始しました。空を覆う木々の中で、二股の木や曲がった木を優先して切り倒し、太陽光が差し込むようにしました。倒した木は、2m間隔に切り、間伐材として利用します。

「日本の森林の地面は砂漠化している。」…今年も総指揮官として参加いただいた地元の山田さんの言葉が印象的でした。



森林ボランティア

### ■「OKI 山と緑の協力隊」が上野村で森林ボランティア活動

2002年11月16日(土)～17日(日)、「OKI山と緑の協力隊」18名は、「地球緑化センター」の職員1名、「緑のふるさと協力隊」の隊員3名と合同で、「上野村プログラム」を実施しました。

群馬県上野村は、30年ほど前までは林業が盛んな村でした。しかし、外国産の木材の輸入が増えるにつれ、林業は衰退の一途をたどりました。今では、過疎化とともに若者も少なく、森林に携わる人が減少し、森林が荒れています。森林教室でお招きした地元林業家の仲沢さんには、「若者さえ来なくなったこの上野村に来ていただき、しかも森林ボランティアをしていただけることは、今後、に大きな影響をもたらすでしょう」と話していただきました。

「上野村プログラム」では、枝打ちを行いました。枝打ちとは、木がすくすくと育つことと日光を森に入れることを目的に、木の下部に生えている枝を切り落とす作業です。枝打ちの注意事項を聞いた後、ヘルメット、軍手、ノコギリを身に付け、作業場へ。作業場は、急斜面にある檜林です。手の届く限りの高さまでノコギリで枝を切り落とします。一人で40から50本の檜の枝打ちを行いました。

## 3 地域のイベントへ参加

高崎市が「環境の日」にちなんで開催した「環境フェア2002」に、(株)沖情報システムズから、専用紙を繰り返し使えるプリンタ(エコプリ®)を出展しました。環境フェアには地元企業7社の出展したほか、市民団体8団体がリサイクルバザーを開き、にぎやかなイベントでした。なかでもエコプリは多くの関心を集め、出展の様子がテレビでも紹介されました。



エコプリ®

## 4 講演会開催

### ■地域住民へ「企業の環境への取り組み」を講演

八王子市主催の「環境学習リーダー養成講座」で、企業の環境への取り組みについて講演しました。環境への関心の高い市民約40名を前に、環境問題全般に関することや、沖電気の環境負荷と環境への取り組みについて講演しました。

### ■信金、地銀担当者へ「沖電気の環境への取り組み」を講演

沖電気製品のユーザーである信用金庫、地方銀行の担当者へ、ゼロエミッション活動を始めとする沖電気の環境への取り組みについて講演しました。参加者からは「沖電気の使用済製品リサイクルについて知りたい」という意見がありました。

## 5 環境NGOを支援

沖電気は次の環境NGOを支援しています。

- (財)日本自然保護協会
- 森づくりフォーラム
- 日本環境倶楽部
- 地球緑化センター
- (財)日本生態系協会(全国学校ビオトープコンクールへ協賛)